

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年2月20日

学校法人光星学院
八戸学院第二しののめ幼稚園

1. 本園の教育目標

- 「明るく元気な子」
- 「心の豊かな子」
- 「自分の考えをもてる子」

2. 本園の特色

- (1) 体験や行事を通して学びの芽ばえを育てる表現活動
- (2) 自然体験を通して育てる喜びと食育活動
- (3) 八戸学院大学、八戸学院大学短期大学部と連携した教育活動

3. 令和5年度重点目標の達成および取組みの状況

重点目標

<1> 教育内容の充実

- 1. 法人系列大学・短期大学部、高等学校等との連携を深め、園児の保育・教育の質を高める。
- 2. 自然や人との関わりの中で、子どもたちが主体的に活動できる体験学習を実施する。
- 3. 年長クラスを対象とした小学校との連携・接続プログラムを計画的に実施する。

<2> 教職員の資質と専門性の向上を図る

- 1. 各教職員の課題や経験に応じた研修を受講し、幼稚園教諭としての資質向上を図る。

<3> 保護者・地域との連携を深める

- 1. 保護者の相談や要望に適切に応じる。
- 2. 保護者への情報発信を迅速かつ的確に行う。
- 3. 子育て支援に関する情報発信を定期的に行い、園児募集に繋げる。

<4> 教育環境および園務合理化に関する施設・設備の整備

- 1. 園舎室内環境を整える（暖房機の交換、遊具・教材収納棚の設置等）。
- 2. 園内遊具、施設、設備の安全・衛生環境を整える（砂場の消毒、園舎外壁塗装・修理等）。
- 3. 園務効率化のためのICT機器およびインターネット環境を整備する（タブレットもしくはノートパソコン等の購入、Wi-Fi環境の整備等）。

※令和3年度より継続的・段階的に整備する

達成度と取り組み状況

※評価 (A…十分な成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった)

目標項目	評価	取り組み状況
<1> 教育内容の充実		
①法人系列大学・短期大学部、高等学校との連携を深め、園児の保育・教育の質を高める。	A	<p>・八戸学院大学健康医療学部看護学科看護実習・八戸学院大学短期大学部幼児保育学科教育実習・八戸学院光星高等学校保育福祉科保育コース保育実習の受け入れ、砂浜彫刻(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科行事)の見学、星の子シアター(八戸学院大学短期大学部幼児保育学科と系列3幼稚園の連携行事)、英語教室(大学:アンソニー先生・年8回)、造形教室(短期大学部:池田先生・年6回)、リトミック(短期大学部:中嶋先生ほか・年10回)、サッカー教室(大学:三田コーチほか:年8回)、運動遊び(短期大学部:澤井先生・年6回)を計画通りに実施することができた。また、短期大学部ゼミ生の訪問(橋本ゼミ1回、中嶋ゼミ1回、加藤ゼミ2回)、体力測定(短期大学部本吉ゼミ)もあり、連携を深めた。</p>
②自然や人との関わりの中で、子どもたちが主体的に活動できる体験学習を実施する。	A	<p>・園外保育・交通安全教室(八戸公園こどもの国:5月2日)、種差少年自然の家での体験学習(全園児親子遠足:5月26日)、ブルーベリー狩り(南郷・根岸ファーム:7月18日)、夏祭り(7月14日:全園児)、浅虫水族館へ青い森鉄道の電車に乗っておでかけ(年長児・年中児:7月24日)、三社大祭山車見学(DENZAI川端重機興業さん前で新井田山車組の山車とお囃子の見学:8月3日)、ボディペインティング(8月28日)、八戸市水産科学館マリエントで海の生き物に触れる(年少児:9月1日)、八戸市視聴覚センター児童科学館でプラネタリウム鑑賞(年中児:9月7日)、勤労感謝の日の訪問(業務班・園バス運転手さんへ年中児が訪問、近隣のDENZAI川端重機興業さんへ年長児が訪問:11月20日)</p> <p>・バケツ苗を育てる(5月25日:苗植え、9月12日:稲刈り、10月5日:脱穀、10月24日:試食)</p> <p>・園の畑で野菜を育てる(5月12日:苗植え、8月22日:じゃがいもと枝豆の収穫、10月24日:さつまいもの収穫、10月24日:試食、11月16日:焼きいも会)</p> <p>・もちつき(12月20日)、種差少年自然の家で昔の遊び体験(2月25日)、豆まき(2月2日)、ひなまつり(3月1日)等季節の遊びや行事を行った。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・うさぎのみみちゃんと亀のみらいちゃんの飼育を通じて生き物に親しみを持って命の大切さに気付くことや生き物への興味関心を育み、子ども同士の関係も深めることができた。
③年長クラスを対象とした小学校との連携・接続プログラムを計画的に実施する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・支援の必要な園児について、個別に情報共有を行った（白銀南小学校が来校、他小学校は、電話での情報共有を行った）。 ・卒園後の就学予定先の全小学校に年長クラスの参観日の案内を出し、幼稚園での子どもの様子を参観していただき、その後の懇談会で情報共有を行う（2/6・8 予定）。 ・昨年までオンラインで行われていた旭ヶ丘小学校との交流会が対面で行われた（2/16 に年長児が旭ヶ丘小学校を訪問）。 ・実施が3学期に集中してしまった。年間を通して段階的に実施できるよう、計画していきたい。
<2> 教職員の資質と専門性の向上		
①各職員間の課題や経験等に 応じた研修を受講し、幼稚園 教諭としての資質向上を図 る。	B	<p>教員の資質向上を図ることを目的として、積極的に研修参加するように促した。その結果、年間で10の研修会に参加し、延べ37名が受講することができた。</p>
<3> 保護者・地域との連携を深める		
①保護者の相談や要望に適切 に応じる。	B	<p>毎月の定例職員会議では、行事の振り返りだけでなく、各クラスの状況や個々の園児の日常の生活で気になることや成長の様子などを報告し、今後の育ちや対応に関わる留意点などについて職員間で情報共有し、園全体で子どもたちに関われる体勢をつくるようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9月に実施した自由参観日では、園児の幼稚園での普段の姿や様子を保護者に自由に参観していただいた。サッカー教室の日もあり、保護者とともに楽しんでいただくことができた。複数回実施した自由参観への参加については、参加希望を1回とさせていただいたが、今後についても時期や方法について検討していきたい。
②保護者への情報発信を迅速 かつ的確に行う。	A	<p>「おがスマ」の活用により、今年度は行事の前日などに一斉メールでの連絡ができるようになり、持ち物などのお知らせをリマインドすることが可能となった。また、園の行事に関して、HP から情報を迅速に発信することができた。</p>

③子育て支援に関する情報発信を定期的に行い、園児募集に繋げる。	A	ポケット広場(未就園児クラス)を月1回開催し、園児募集に繋げる活動をしている。今年度も予定通り実施し、毎回参加者に好評であった。活動については、HPに掲載し、情報発信を定期的実施した。
<4> 教育環境および園務合理化に関する施設・設備の整備		
④園舎室内環境を整える(暖房機の交換、遊具・教材収納棚の設置等)。	A	暖房機の交換・・・年少児クラスのFFストーブの交換をし、安全な環境を整えた。 遊具・教材収納棚の設置・・・2階ホールのステージの奥に設置し、遊具、教材を収納することにより、2階ホールのステージの活用ができるようになった。 ホールのエアコン設置・・・2階ホールにエアコンを新設し、猛暑における園児の健康管理が可能となり、園内環境が整備された。
⑤園内遊具、施設、設備の安全・衛生環境を整える(砂場の消毒、園舎外壁塗装・修理等)。	A	砂場の消毒・・・5月23日、9月7日の2回、砂場の消毒を実施し、安全な砂遊びの環境を整えた。 園舎外壁塗装・・・6月5日～6月22日の期間に、園舎の外壁の半分を塗装し、園舎の色が整った。併せて、玄関ドアと街灯の塗装も終了した。 ホールの天井修理・・・8月24日に、ホール天井の穴と雨漏りの箇所の修理が終了した。
③園務効率化のためのICT機器およびインターネット環境を整備する(タブレットもしくはノートパソコン等の購入、Wi-Fi環境の整備等)。	C	今年度に関しては、まだ整備が進んでいない。次年度に向けて検討中。

4. 総合的な評価

評価	理由
B	今年度掲げた重点目標については概ね実行することができたと思われる。しかし、保護者による評価と教員の自己評価の結果からみると、保育の計画性、特別支援教育、子育て支援等、教員としての資質に関わる部分について課題を残した。今後改善は急務であると意識し、教員間で認識の共有を図り、研鑽を積み、改善に努めていく。日常の保育・教育活動時の保健・安全管理についても引き続き、環境衛生と安全点検を強化していく。

5. 今後取り組む課題

課 題	内 容
保育の計画および 幼小連携・接続	小学校との交流および連携を図り、接続プログラムを年間を通して計画的に実施できるよう教育課程を編成する。
教職員の資質 および専門性の向上	各教職員の課題や経験等に応じた研修を受講するなど、幼稚園教諭としての人格と資質向上を図る。特に、発達課題を抱える園児に対して必要な支援や働きかけ、適切な対応が講じられるよう、特別支援教育に関する研修を受ける。
保護者・地域との 連携を深める	有意義な教育相談や子育て支援ができるよう、積極的に在園児の保護者や未就園児の保護者との連携や情報共有を図る。また、卒園予定児の就学先（小学校）との連携と情報共有を図る。
園内施設・設備の 安全整備	園舎や園庭の設備・備品・教具・遊具の修繕・修理を行うとともに、園児の健康と安全確保を図るための点検を日頃から行うことを習慣づける。また、年間を通して感染症対策を行い、夏季・冬季の室内環境を整える。

6. 学校関係者評価委員会を終えて（委員からの講評）

今年度の目標は、ほぼ達成されている。取り組みは良好であった。また、小学校との連携については、年長児が進学する人数の多い小学校との交流もあればよいと思う。昨年までコロナ禍でオンライン交流をしていた旭ヶ丘小学校に、3年ぶりに出向いての交流会が行われたことはよかった。幼小連携は八戸市もこれから力を入れて取り組んでいくことになっているので、今後も幼稚園の特色を生かしながら、情報交換していただければと思っている。今年度、電車に乗ってお出かけしたことは、新しくてよい取り組みと感じた。子どもたちは電車やバスに乗る機会が少ないので、幼稚園のうちに体験させたい取り組みと感じたので、今後も続けてほしいと思う。